

ロッテ商事株式会社

ワークフローと基幹システムを連携し 業務を自動化 人的負荷の軽減と 正確かつ効率的なデータの受渡しを実現

ロッテの菓子製品の販売を手掛けるロッテ商事では、以前から効率的な営業活動を実現する目的で業務改革に取り組んでいた。既に、キヤノンソフトウェアのワークフロー製品を導入して営業部門内にある150種類にも及ぶ申請書を電子化し、ビジネスプロセスも見直した。その結果、ビジネスプロセスの煩雑化を解消し、申請書の作成時間の短縮および決裁状況の共有化に成功した。今回、『SAP R/3』の機能拡張に伴うシステム刷新と、更なる業務の効率化を図る目的で、ワークフロー構築ソフト『Web Plant』の導入に至った。以前の基幹システム（ホストコンピュータ）では、申請書の承認結果を手作業でデータ登録していたが、『Web Plant』の強みである他システムとの連携機能を活用して『SAP R/3』との連携を実現。申請途中で『SAP R/3』へデータを渡し、事前登録チェックを行うことで登録時のエラーを防ぐことが可能になった。

お客様が実現できたこと

- ✓ 基幹システムとの連携により業務を自動化することができた。
- ✓ データ登録の事前チェック処理により、基幹システムへ正確なデータを効率よく渡せるようになった。
- ✓ 従来のワークフローシステムの質を落とさずに移行し、バージョン管理機能など新たな機能により組織変更時の対応がスムーズになった。

▶ お客様プロフィール

お口の恋人

LOTTE

法人名：ロッテ商事株式会社

URL: <http://www.lotte.co.jp/>

住所：東京都新宿区西新宿3丁目
20番1号

創業：昭和23年6月

従業員数：3,250名（ロッテグループ合算）※2009年3月現在

事業所等：本社（東京）及び全国支店

事業内容：菓子、飲料などの販売

「お口の恋人」ロッテでは、一人でも多くの人々に愛される会社、愛される製品を目指し、つねに3つのテーマを核に新しい挑戦を続けています。

- 「ユーザオリエントド」：「最も大切な顧客は消費者」という原点を忘れず、お客様の豊かな生活に貢献できる製品・サービスを提供していきます
- 「クオリティ」：最高の原料・技術・設備による最高の製品とサービスを提供し、お客様に「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」を約束します
- 「オリジナリティ」：常に「チャレンジ精神」を発揮し、情熱を持って新たな事業分野やグローバルなマーケットを展開していきます



— お客様の声 —



戦略統轄部 事業計画部
宮田 淳一 氏

「基幹システムとのデータ連携による業務の自動化が大きな成果です」

「『Web Plant』の導入により『SAP R/3』とデータ連携が実現できたことで、更なる業務の効率化が図れました。

以前は、当時のワークフロー製品からデータを基幹システムへ手作業で書き込んでいましたが、『Web Plant』の導入によりデータ連携が可能になりました。書き込む直前に、『Web Plant』側で申請内容のチェックができ、書き込みエラーを防げることも大きなメリットです」

— 担当営業紹介 —



キヤノンソフトウェア株式会社
小田 瑞穂

ロッテ商事さまとは長いお付き合いをさせていただいています。

「Web Plant」が業務の効率化に役立つことができ、嬉しくおもいます。



お客様のご要望

- ▶ ワークフローシステムと基幹システムを連携させたい。
- ▶ 基幹システムへデータ登録する際の手入力エラーを防ぎたい。
- ▶ 従来のワークフローシステムの質を落とさずに移行したい。



導入前の課題と背景

基幹システムとデータ連携が可能なこと

『Web Plant』の導入に至った経緯をお聞かせください。

「以前から社内の業務改革に取り組んできました。その中で営業部門では、ワークフロー製品を導入し、情報伝達のスピードアップと情報の共有化を実現しました。そして今回、基幹システムの入替りに併せて、間接部門の業務の自動化を検討しました。以前は、ワークフローシステムの決裁データを基幹システムへ、手作業で書き込んでいました。そのため、登録前の決裁データの内容確認や、書き込み時に発生するエラーなどへの対応に追われ、業務担当者の負担となっていました。そこで、基幹システムを『SAP R/3』へ入れ替えると同時に、他システムとの連携が可能な『Web Plant』を導入することで、ワークフローシステムから基幹システムへの決裁データの書き込みの自動化を図り、間接業務の効率アップを目指しました」



導入の必然性

ユーザーの利便性を第一に質の向上を目指す

システムを選ぶポイントはどこでしたか。

「ワークフローシステムの利用は、当社の企業文化にすぐに根付きました。営業活動における業務とワークフローシステムが密接に関わっているため、新たなワークフローシステムを導入するにあたって、ユーザビリティや機能を含め、営業社員の利便性は維持しつつ、機能強化できることが重要なポイントでした。『Web Plant』は、紙の申請書を電子化する機能に加えてシステム連携機能を搭載しています。また、以前利用していたキヤノンソフトウェアのワークフロー製品と同様なデザインや操作性の申請書を開発することが可能でした。

システム連携部分の開発については、専門知識を要する部分がありましたが、そこは連携のノウハウのあるキヤノンソフトウェアを開発パートナーに選定することで短期間での構築が可能になると判断しました」

工夫

運用の工夫

正確かつ効率的なデータ連携に注力

システム連携ではどんなところを工夫されましたか。

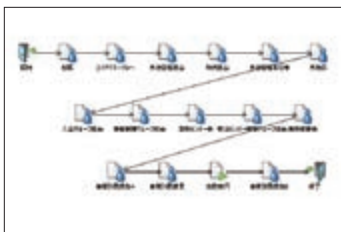
「基幹システムに『ホストコンピュータ』を利用していた頃は、データの登録や書き込みエラーへの対応を余儀なくされていたため、業務担当者の負担を軽減することは困難でした。そこで、ワークフローシステムと『SAP R/3』との連携を実現するにあたって、書き込みエラーを未然に防ぎ、人的負担を軽減する仕組みを検討しました。

『Web Plant』から社内のデータベースへ接続し、マスタデータを自動的に申請書へ取り込む機能を備え付けました。

そして、実際に『SAP R/3』へデータ登録を行う前に事前チェックを行うことで、書き込みエラーを防ぐ工夫をしました。その結果、『SAP R/3』へ正確なデータを効率よく渡すことができるようになりました」

システム連携はうまくいきましたか。

「システム連携を実現する上で懸念していたことの一つに、同じマスタに関する申請が同時期に複数のユーザーによって行なわれた場合などのデータの二重登録や不整合を招く危険性でした。二重登録ができないように排他制御などを設けることで正確なデータの受け渡しを実現することができました」



プロセス設計



帳票

成果

取り組みの成果

情報の伝達スピードの向上を実現

基幹システムへ効率良くデータが渡せるようになったそうですね。

「『SAP R/3』との連携が実現できたことで、間接業務の大幅な軽減に繋がりました。それだけでなく、ある申請では、最終決裁までおよそ1週間を必要としていましたが、連携が可能になってからは2、3日までに短縮されました。システム連携に伴い、申請から最終決裁までのルートも改めて見直した末、承認ステップが若干増えたにも関わらず、これまでのおよそ2.5倍のスピードアップが実現できました。また、『SAP R/3』の他に、他の営業系や販売管理系システムへのデータ受け渡しも自動化したことで、幅広く社内業務の効率化に貢献できたことは大きなメリットです」



戦略統轄部 事業計画部
藤原 典子 氏

ユーザーにはどのような効果がありましたか。

「『SAP R/3』とのデータ連携を可能にしたことにより、間接業務を自動化できました。システムへの入力ミスを排除してデータの一貫性が保てるようになったほか、業務担当者の負荷も軽減できたことで、これまで以上に営業社員のバックアップが可能となり営業活動の効率アップにつながっています。

他システムとの連携機能以外にもバージョン管理機能により、社内の組織変更時の対応が以前よりスムーズになりました。決裁途中で組織変更があった場合でも申請時の組織情報が維持され、最終決裁まで進めることができるので、締め処理を意識する必要がなくなりました。また、必要に応じて変更後の最新の組織に切り替えることもできるため、ユーザーが異動を意識する必要もありません。これは利用者にとって大きなメリットです」

将来

将来の展望

幅広い業務をワークフロー化することによる効果に期待

今後の課題と展望についてお聞かせください。

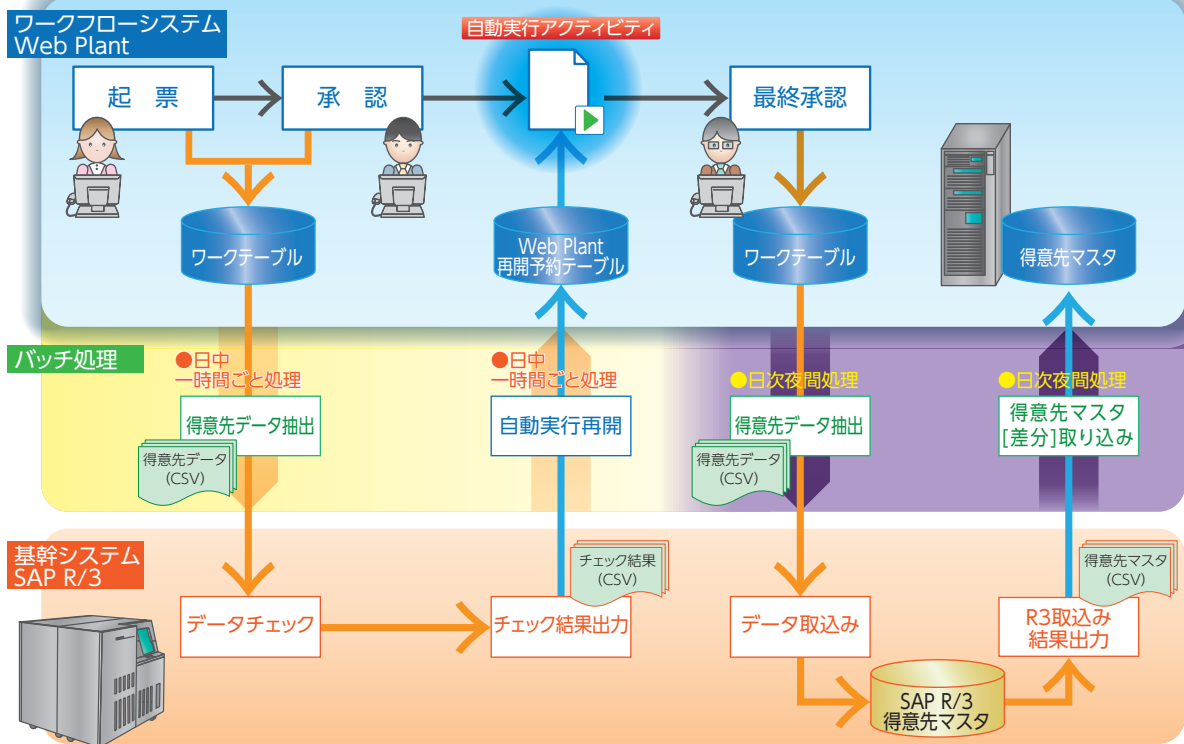
「当社では、営業部門の業務とワークフローシステムが密接に関わっています。そのため日々、ワークフローシステムを安定的に稼働させていきたいと思っています。その為

にも、キャノンソフトウェアには『Web Plant』の機能および保守サービスの更なる進化を期待しています。

引き続き営業活動の効率化を目指し、他の業務もワークフロー化できるか対応を検討しています。

更に、将来的には営業部門に限らず、当社の管理部門やロットグループ間で横断的にワークフローを展開していきたいと思っています」

Web Plant を利用したシステム連携



ワークフローと基幹システムの連携により『間接業務の自動化』を実現

『Web Plant』の自動実行アクティビティ機能を活用し、基幹システムとの連携機能を構築しました。正確なデータを効率的に受け渡すことで基幹システムへの登録エラーを排除できました。申請から最終決裁までリードタイムが短縮し、業務のスピードアップと間接業務の人的負担の軽減につながりました。

ワークフローシステム構築ツール『Web Plant』

あらゆる業務の電子決裁を可能にするワークフローシステム構築ツール。ワークフローを開発・運用できるGUIの操作インターフェースとシステム連携機能を提供します。

●記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。



Web Plant ホームページ

canon-soft.co.jp/product/web_plant

キャノンソフトウェア株式会社

東京 〒108-8317 東京都港区三田3-9-6 TEL (03) 3455-9885

大阪 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-2-13 TEL (06) 7711-5851

E-mail: plt_inf@canon-soft.co.jp

Canon キヤノンソフトウェア株式会社

〒108-8317 東京都港区三田 3-9-6

Copyright© 1999-2010 Canon Software INC. All rights reserved.